
賛助会員

北海道栽培漁業振興公社（060 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道第二水産ビル4階）

阿寒観光汽船 株式会社（085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔）

株式会社 シロク商会（260 千葉市春日1-12-9-103）

全国海苔貝類漁業協同組合連合会（108 東京都港区高輪2-16-5）

有限会社 浜野顕微鏡（113 東京都文京区本郷5-25-18）

株式会社 ヤクルト本社研究所（189 東京都国立市谷保1769）

田崎真珠 株式会社 田崎海洋生物研究所（779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井）

神協産業 株式会社（742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1）

理研食品 株式会社（985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号）

株式会社 白寿生科学研究所（351 朝霞市栄町3-3-7）

三洋テクノマリン株式会社（103 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3-17）

編集後記

理屈ではごく簡単な作業のはずだった。3年前に学会誌改革のワーキンググループで話しているときにはタカをくくっていたが、実際にはDTPなど先達があるはずもなかった。印刷会社も経験がなく、どちらも素人だった。ともかく走り出すしかなかった。和文誌編集委員会の仕事は従来の「藻類」の印刷の質を可能な限り守りながら、およそ半分の経費で年3号の和文誌を会員に届けることだった。

結果をいえば、ずいぶんと「ドジ」を踏んだ。繰り返しテストをして万全を期したはずなのに、現実には印刷の仕組みについて知らないことが多すぎて失敗が続いた。印刷屋さんに渡すフィルムの出力には1頁1300円の経費が必要だが、東京の出力屋さんに受け取りにいくたびに冷や汗をかいていた。川嶋先生の美しい口絵の雰囲気十分に伝えることができなかった。論文や記事も、濃すぎたり薄すぎたり、コントラストが強すぎたり、しばしば予想外の仕上がりになった。お詫び申し上げる。印刷の試行錯誤はこの号でも続いている。

私の担当の最後の号、44巻3号をお届けする。43巻1号から6冊、もう少しうまくできるつもりだったので、やや忸怩たるものがある。この業務は作業に細心の注意を払える几帳面な人に向いており、私のようなアバウト人間はちと問題がある。2年間、冷や冷やし、いらいらした方が多かったかと思う。文字化けなど目につく不手際も多かったのに、励ましはいただいても、責められたことはなかった。それにしても好き勝手な編集をさせていただいた。ご支援とご協力にお礼を申し上げたい。

2年間の編集では、新機軸を打ち出すことも大事な仕事だった。総説・解説や研究技術紹介については多くの方のご協力をいただいた。記事も積極的に出していただいた。しかし、いくつかの企画はついに実現できなかった。これもお詫びしなければならないことのひとつである。

2年間、多くの方に論文、短報の審査、査読をお願いした。独断で審査員のお名前は公表してしないが、ほとんどの方は大変熱心な、英文の国際誌なみの質の高い審査をしてくださった。投稿されたみなさんのなかには予想外の厳しい意見や審査結果に戸惑われた方もあったと思う。しかしこれも会員の熱意の現れと考えていただきたいと思う。ますますの投稿をお願いしたい。記事ももっと気楽に書いていただければよいと思う。

録事で報告されているように、次期の和文誌は北大の堀口さんが引き受けてくれた。現在の学会事務局の庶務であり、その仕事ぶりはみなさんご存じの通り、安心してみていられる。安心して引退できる。

和文誌編集委員会 井上 勲

日本藻類学会入会申込書

(コピーしてお使い下さい)

19 年度より入会 19 年 月 日 申込み

氏名 _____ 19__年__月__日生

★ Name _____
(Family name) (Given name and initials)

所属機関名 _____

★ Institution _____

住所 〒 _____

★ Institutional Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

自宅住所 〒 _____

★ Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

★の項目は英語またはローマ字で必ずご記入ください。英文誌の送付に必要です。

以下の欄にチェックして下さい

会員の種類: 普通会員 7,000円 学生会員 5,000円 (学生会員の場合、指導教官の署名が必要です)

指導教官の署名: _____

会費納入方法: 同封 郵便振替 (できるだけ郵便振替をご利用下さい)

会誌の送り先 所属機関 (勤務先) 自宅

入会申込書送付先: 〒 305 茨城県つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館植物研究部

北山太樹 TEL 0298-53-8975, FAX 0298-53-8401

会費払込先: 郵便振替 口座番号 00180-5-68429 加入者名: 日本藻類学会

1997年1月1日から学会事務局、会員管理の事務局が変更になります。詳細は録事
および184ページをごらんください。

学会事務局
使用欄

受付

名簿

発送リスト

入金確認

学会録事

海洋環境・藻場造成関係者必携の書!!

図鑑 海藻の生態と藻礁

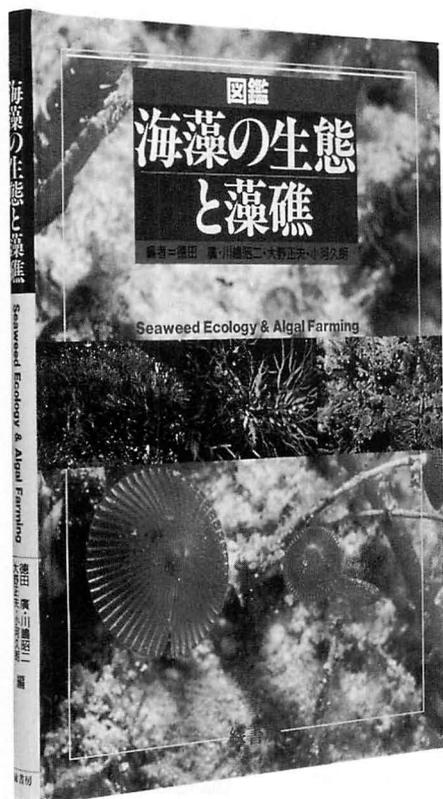
編者 = 徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。

生態編では、緑藻42種、褐藻72種、紅藻80種、海草6種の総計200種をオールカラーで紹介。藻礁編では、藻礁、すなわち藻場造成用人工礁の構造や沈設位置を図示し、海中での藻礁上の海藻の生育状態、あるいは動物の集結状態を経時的に撮影した82点に及びカラー写真で示した。

藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

■B5判 上製 総ページ 198p
カラーページ 179p
定価 14800円(税込/送サービス)



英語版も完成!

— A Photographic Guide —

Seaweeds
of Japan

定価15,000円(税込/送サービス)

藻類のライフヒストリーをオリジナルの線図に解説をつけ見開きで示す!

藻類の生活史集成 全3巻 堀 輝三編 (送料各巻450円)

- 第1巻 緑色藻類 (185種) B5判・450頁・定価8,240円
- 第2巻 褐藻・紅藻類 (171種) B5判・424頁・定価8,240円
- 第3巻 単細胞・鞭毛藻類 (146種) B5判・372頁・定価7,210円

藻類の研究者115名が自らの研究成果と資料をもとに執筆に当り、現時点で明らかになっている藻(502種)の生活史・生活環を線図で集大成した初めての本。

本書の構成は、図を左頁に対面する頁に和英の解説文をつけて、2ページを1単位として組み立ててある。執筆者によるオリジナルの線図は、藻類のライフサイクルを一見して理解させそれに簡明な解説を付す。さらに教育的配慮から多くの種について分布図を、そして各巻ごとに同義語を、各巻の巻末に学名総索引・和名索引を収録して読者が使いやすいよう工夫した。藻類を専門とする研究者や中学・高校の生物の先生、水に関連する研究所や企業の方々に初め藻類に興味をもつ人々にとって、長い間出版が望まれていた本である。 [呈内容案付]

お蔭様で第16巻(100種)刊行、1600種となりました。
藻類の種の分類と同定を写真で解説。座右の手引書にお使い下さい。

淡水藻類写真集 第16巻 山岸高旺・秋山 優編

B5判・100シート 定価7,210円
2穴・並製箱入り(千各380円)

既刊 1・2巻 定価4,120円/3~10巻 定価5,150円/11巻~ 定価7,210円(17巻 96年9月刊)

近刊のご案内 陸上植物の起源 リンダ・E. グラーハム著/堀輝三・渡邊信訳

原題“Origin of Land Plants” 96年4月予定

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺編 日本ではじめて創られた本格的な図鑑。淡水藻類の研究者や水に関係する方々にとっては貴重な文献である。定価99,140円

日本の赤潮生物 写真と解説

福代康夫・高野秀昭・千原光雄・松岡数充編 日本近海と淡水域に出現する赤潮生物を収録し、写真、文献等から分類・同定した。定価13,390円

藻類学総説

廣瀬 弘幸著 定価10,300円

藻類の生態

秋山・有賀・坂本・横浜編 定価13,184円

水の環境科学

鈴木 静夫著 定価2,472円

数理分類学

スネース&ソーカル/西田・佐藤訳 定価15,450円

植物細胞遺伝工学

西山 市三著 定価5,665円

台湾産浮遊性藻類(英文)

山岸 高旺著 定価12,360円

水辺の科学

—湖・川・湿原から環境を考える—
鈴木 静夫著 定価2,369円

ナマコとウニ

—民謡と酒のさかなの話—
大島 廣著 定価1,339円

内田老鶴圃

〒112 東京都文京区大塚 3-34-3
電話(03)3945-6781 FAX(03)3945-6782

呈図書目録
(価格は税込)

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号 (創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補. 1977. A5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B5 版. xiv+280 頁, 6 図版. 昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1996 年 11 月 5 日印刷

1996 年 11 月 10 日発行

© 1996 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by Alles Ltd.

編集兼発行者 井 上 勲

〒 305 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学生物科学系

Tel. 0298-53-6655

Fax. 0298-53-6614

email. iinouye@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

印刷所

(有) ア レ ス

〒 305 つくば市竹園 2-11-16

Tel. 0298-53-8188 (代)

Fax. 0298-53-8177

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学理学研究科生物科学専攻

系統進化学講座

Tel. 011-706-2745

Fax. 011-746-1512

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第44巻 第3号 1996年11月10日

目次

日本藻類学会第21回大会のお知らせ-広島・1997-

口 絵 川嶋昭二：藻類アート

Mazzaella japonica (Mikami) Hommersand アカバギナンソウ

矢部和夫・牧野 愛・鈴木 稔：海洋生物におよぼす紫外線の影響

1. UV-B 照射によるホソメコンブの配偶体の成長阻害 139

岩瀬嘉之・多記 徹・常田和義・横浜康継：銅およびニッケルイオンによる浮遊性

珪藻 *Chaetoceros gracilis* の成長阻害効果 145

第20回日本藻類学会大会シンポジウム「海の中の森林生態学」特集(2)

本多正樹：カジメ群落の生産力モデル-光と温度の関数として- 149

研究技術紹介 藻類の光合成研究法シリーズ-3

佐藤典裕・都筑幹夫：光化学系活性測定法 159

鯨坂哲朗：第1回アジア太平洋藻類学フォーラムに参加して 165

鯨坂哲朗：イスラエルの藻類研究の紹介 167

吉田忠生：韓国藻類学会10周年 169

南雲 保・長田敬五：小林 弘先生の御逝去を悼む 170

真山茂樹：第14回国際珪藻シンポジウム開催に携わって 172

書評・新刊/新刊書・近刊書

千原光雄：21世紀の海藻資源-生態機構と利用の可能性-(大野正夫 編著) . . . 174

井上 勲：陸上植物の起源(リンダ・E. グラハム著, 渡辺 信・堀 輝三共訳) . . . 175

川井浩史：Prominent Phycologists of the 20th Century.
(D. J. Garbary and M. J. Wynne (eds.) 176

学会・シンポジウム情報 178

英文誌 Phycological Research 44巻2, 3号掲載論文和文要旨 181

学会事務局移転のお知らせ 184

学会録事 185

投稿案内 190